

## 信州小布施 岩松院ボルダー

令和2年9月4日 RCT/K

長野県小布施町は栗菓子があるが有名だが、北斎が晩年創作活動に勤しんだ地として知られる文化の街でもある。

この町の東方に連なる雁田山の麓にある岩松院は北斎の天井絵「八方睨み鳳凰図」で有名であるが、岩松院ボルダーは、その奥に散在する小さなボルダー群である。

存在は大分前から知っており、当時はSD限定のトライスタイルが頭になく、小さなボルダーで対象外と思って放っておいたのだが、昨年の帰省の際に改めて確認してみると、まずまず遊べそうな岩が幾つもあったので、実家滞在中に何回か遊びに行ってみた。

岩質は安山岩でしっかりしており、高さは2m強までであり大きな岩はない。下地は概ね安定しており、厚いクラッシュパッドがなくても緊張感なくトライできる。

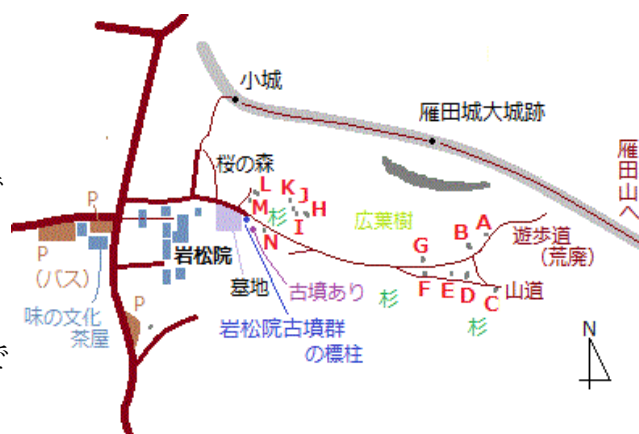
アクセスは、小布施町の岩松院を目指して行けば、全く問題ない。車は観光用の駐車スペースがあるが、年間を通じて土日休日は観光客が多いので、参道入り口ではなく、少し南にある駐車場を利用の方が迷惑にならない。しかし大きなクラッシュパッドを背負っての目立つ格好は控えたいため、その場合、旧遊歩道入口近くの墓地の駐車場を利用させてもらうが、お盆やお彼岸の期間はボルダリングは慎んだ方が良い。また、不審車と間違えられないよう、「ボルダリング中」の札などを車に掛けておくと良い。

アプローチは、雁田山登山口へと続く車道に入り、途中左に登山道を見送り登って行くと右に墓地がある。L岩とM岩は墓地の手前の山側の奥に見える。墓地の先からは山道となり、入口に「岩松院古墳群」の標柱が立っている。この道は以前遊歩道であったらしいが、今は荒廃しきっている。再度古墳群も含めて整備すれば、小城から大城を周回するいいハイキングコースになると思うのだが残念である。

入口から少し入った左奥にH岩からK岩があるが植林帯の奥なので分かり難い。さらに道を遡ると、山道と旧遊歩道の分岐にF岩とG岩が現れる。右の山道は荒れているので、左の旧遊歩道を進むと間もなくE、D、B岩があつて、旧遊歩道は山の斜面の中を登っている。C岩は右へ山道に出ると、植林の中に見えるので直ぐ確認できる。

今回紹介したボルダー以外にも幾つかあるが、観光客から丸見えだったり、場所が悪かったりしてトライはしていない。

なお、これらのボルダーの多くは「岩松院古墳群」の中に散在しており、ボルダーをトライしていると古墳とは関係ない石ころも古墳に見えてしまうのは不思議である。中世に山城を築くため古墳の石積みを持ち去られ、殆んどが荒らされたためか、元の形を残す古墳として整備はされていないが、一応古墳を荒らさないという意味で、むやみに石ころを動かすのは謹んだほうが良いだろう。



### 《課題紹介》

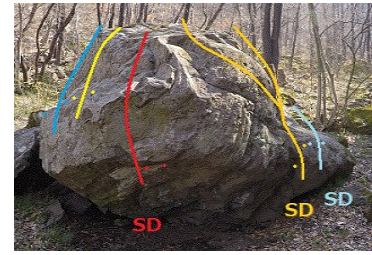
#### ●A岩

紹介した中では最奥のボルダー。全体的に易しく、特に面白みはない。降雪後など下のボルダーが登れないときに利用できるが、そこまで行くほどのものではないかも。



●B岩(マンモー・ロック)

旧遊歩道が山の斜面を登り始めるところにある2.5m程の岩。  
ハングしており、赤ライン(課題名:ギヤートルズ)がお奨めで下向きのクラック状ホールドから両手スタート。  
水色ラインは、マントリングが意外ときつい。



●C岩

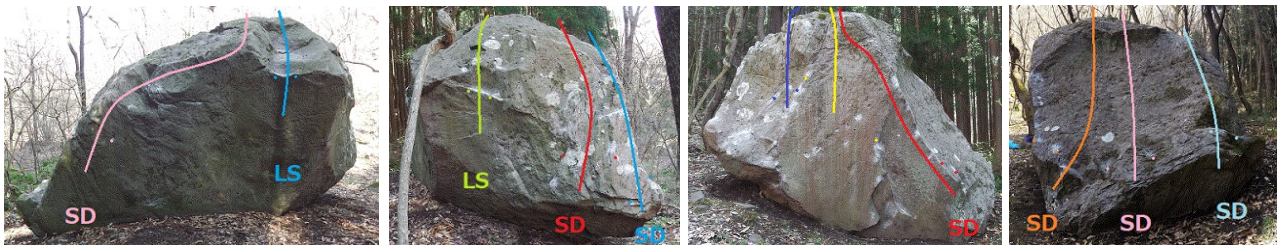
トポ左:北面(山道側) トポ中央:西面 トポ右:南面

岩自体は大きいですが上がスラブになっているので面白味に欠ける。ムーヴ的には北面の赤と黄色ライン、西面の赤ラインなどが楽しめる。



●D岩(花見岩)

トポ左より:南東面、北東面、北西面、南西面

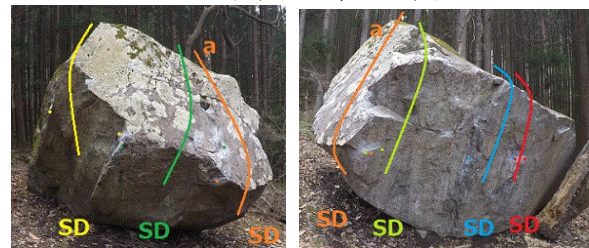


周囲に課題があり、限定していろいろと遊べる。北西面の赤ラインがちょっと面白い。黄色ラインのSDは未解決。

●E岩

小さな岩だが、ムーヴ的には意外と面白い。  
オレンジラインと黄緑ラインが楽しめる。

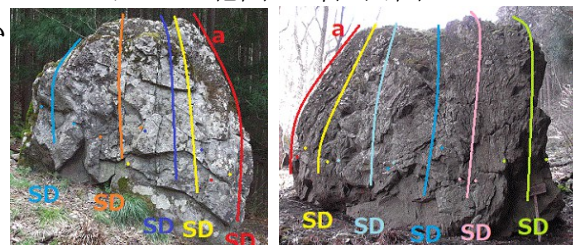
トポ左:北面 右:西面



●F岩

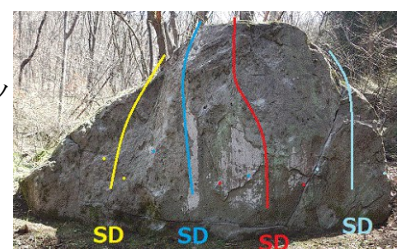
旧遊歩道と山道の分岐にある岩。大きいですがガバばかりで、SDで限定してもやはり易しい。

トポ左:北面 右:西面



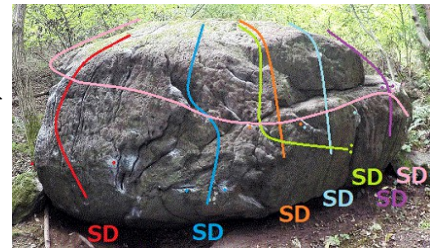
●G岩

見た目は細かそうで難しそうだが、登ってみるとスタートに良いフットホールドがありそれ程でもない。一応赤と青ライン辺りが楽しめる



●H岩(セブン・ボトルズ・ロック)

横に一升瓶が7本転がっていたのでこの命名となった。なぜ7本もそこにあったのかは意味不明である。もしかすると、周辺の古墳の埋葬者を吊る意味で、石を持ち去ったものが贖罪の意味で奉げたのであろうか。

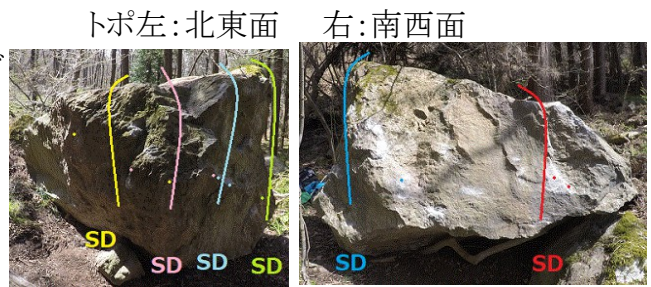


岩は全体的には大きい、高さはなくガバが多い。ホールドが多く、一見易しそうに見えるのだが、トライすると意外と手強い。

ムーヴ的には、左側の赤(課題名:大吟醸 スタートの左手は、カンテ左の壁のホールド)と青(課題名:スコッチ 完全に寝た状態からスタート)、黄緑(課題名:バーボン スタートはガバの縦ホールドだが、足のホールドが悪く一手目を取るのがきつい。上のバンドに出ず、左に移ってから直上)、ピンク(課題名:テキーラ)が面白い。

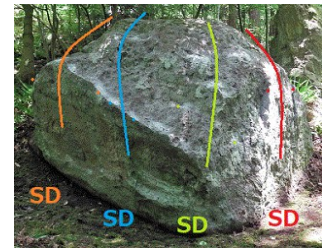
●I岩

H岩の少し下にある小さな岩。北東面はハングしているが易しい。南西面は赤ライン(左足をヒールフック)がちょっと面白い。



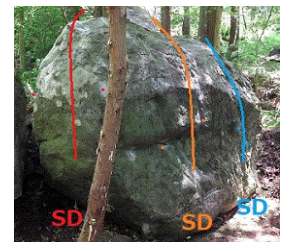
●J岩

I岩のすぐ下にある小さな岩。最初は対象には見えなかったが、掃除をしたら、易しいがちょっと遊べた。



●K岩

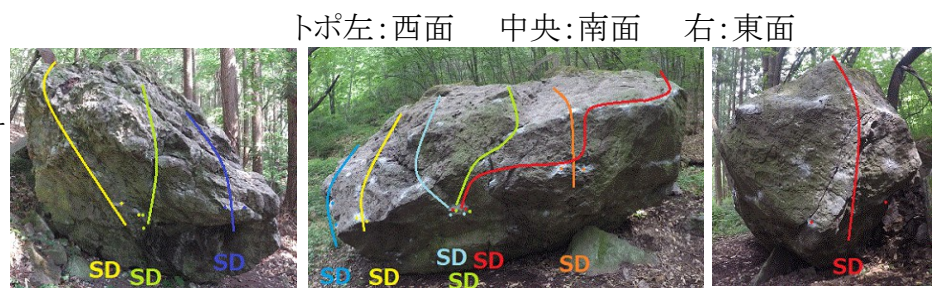
この岩も小さいが、掃除をしたら、ムーヴ的にも面白く意外と遊べた。



●L岩(古墳岩)

墓地の駐車場の少し手前を山側に入ると奥に見える。

山側に古墳があるが、整備はされておらず、何か意味不明な鉄の大きなオブジェが捨ててある。



大きな岩だが、高さがなく課題はSDがほとんどである。西面は被っており、脆いところがあるので注意が必要。

課題数は多く、ムーヴ的には、南面の赤のトラヴァースと、東面の赤ライン辺りが面白い。

●M岩

L岩の手前右の小さな岩。高さがなくガバが多いので、課題は易しい。



●N岩

墓地から旧遊歩道に入って、最初にある岩。  
西面はスラブだが、SDで限定するとちょっと楽しめる。  
南面はフェイスだが、良いホールドがあり易しい。

トポ左:西面 右:南面

